

九州産業大学産業経営研究所
コンテンツツーリズム学会 共同研究会

アニメツーリズムが地域を救う

日時:平成28年8月5日(金)10:00~12:30(予定)

場所:S714大学院講義室(1号館7階)

講師:増淵 敏之 氏

(法政大学大学院政策創造研究科教授)

近年、アニメを観光資源とした動きが高まっています。アニメツーリズムとは「アニメやマンガ等の作品が地域を舞台として取り上げ、そこから派生するイメージを地域と共有することによって生み出される観光」(山村2008)を指します。九州でも『夏目友人帳』(熊本県人吉市)、『ばらかもん』(長崎県福江島)など様々な作品の舞台となっており、国内はもとより海外からも多くの観光客が訪れます。本研究会では増淵先生をお迎えして、コンテンツツーリズム及び地域振興の立場から、アニメツーリズムの可能性についてお話いただきます。

担当:商学部 岩崎 達也

津村 将章

問い合わせ:tsumura@ip.kyusan-u.ac.jp

※なお、この研究会は、専門研究部研究プロジェクト「アニメ・マンガによる地域誘客の可能性ー地域、作品、読み手の関係性分析ー」の研究活動の一環です。